

しげのぶ清愛園地域連携推進会議議事録

- 1 日 時 令和6年11月7日(木)
午後3時00分～午後4時00分
- 2 場 所 東温市田窪 2119 番地 1
しげのぶ清愛園 大会議室
- 3 出席役員 構成員
久保 洋美、白石 哲一、松本 幸恵
菅野 邦彦、森本 泰誠
- 施設職員
近藤 修、篠森 敦、宮村 英二、藤川 優作
(欠席者)
大窪 竜

愛媛県社会福祉事業団地域連携推進会議規程第3条款第2項に規定する定足数を満たしていることを確認し、各構成員、施設職員の自己紹介をする。次に、会議規程第3条款第3項の規定により、議事進行を施設長(園長)にお願いし、議事に入る。

最初に、当会議の目的等を、厚生労働省による手引きを活用し、藤川主任支援員より説明する。

- 4 議 案
- (1) しげのぶ清愛園 事業と利用者の概要
 - (2) しげのぶ清愛園 運営状況
 - (3) しげのぶ清愛園 地域交流の紹介
 - (4) その他

近藤園長 各議案の後に意見等伺うのでよろしく。議案1を事務局から説明
藤川主任支援員 事業、利用者の状況について説明。

生活介護(定員44名)、就労移行(定員6名)

運営方針等

- ① 福祉人材の定着
- ② 利用者処遇・プライバシーの配慮
- ③ 職員処遇の充実・士気高揚策・職員研修
- ④ 地域における公益的取組
- ⑤ 施設の特徴

※就労継続B・・・農産物の生産、収穫・清掃等

職員

常勤、非常勤合わせて支援員30名、看護師2名、栄養士1名、調理員8名

の体制となっている。

利用者状況

施設入所 定員 40 人に対し、実利用者 42 人

8月のデータで作成している。現在は1名GHに転出したため
実利用者 41 人。

生活介護 定員 44 人に対し、実利用者 46 人（入所 33 人、通所 13 人）

就労移行 定員 6 人に対し、実利用者 2 人。

施設入所 利用者の平均障害支援区分 平均 5.2

生活介護 一日当たりの利用率は定数 40 人に対し 40.7

短期入所 一日あたりの利用率は2名ないし、1名

生活介護の利用率を合わせて、清愛園が受け入れ可能な上限に
近い利用率。

日常生活については、排泄、着脱衣の一部介助、全部介助が合わせて4
0%超え、入浴については一部介助以上が100%となっており、日常生活
に対しての支援の割合が高くなってきている。

事故及びヒヤリハットの件数 R5年度 事故 231 件 ヒヤリハット 13 件
軽微な事故でも報告するようにして、定期的に委員会も開催し、再発防止
策の検討を行っている。

週間日程、外部講師活動の状況。外部講師の活動は、各活動月1回の活動
ではあるが、利用者はとても楽しみにしている。

近藤園長 意見・質問を求める。

久保構成員 入所は定員以上受け入れているが、知人から、いつになったら清愛園に入
れるようになるのか聞かれた。現在の待ちがどれくらいなのか。

宮村係長 単純に待ち数だけでいうと177人。20年以上待っている方もいる。併願も
可能であるため、他施設に決まるなどしている方はいるかもしれないが、
今すぐに入るといふわけにはいかない。少しでも入所を考えられる方がい
るとしたら、市役所に早めに申請を。

菅野構成員 利用者の出身地で、東、中、南予の割合はどうなっているか。

宮村係長 やはり、立地上、東温市や松山市の方が多くはなっているが、今治、宇和
島など東予、南予の方もいる。社会資源として入所施設が少ない地区であ
るため、ある一定数はどこの施設にもいる。

近藤園長 「新規の入所施設は作らない、地域と連携してGHへと繋げていく」と、国の
方針も出ている。

- 久保構成員 古くからいる利用者の保護者には、清愛園が新たに「高齢の入所者たちを集めた施設を建てる」と言われる方がいる。実際どうか。
- 近藤園長 新設はない。高齢になり、介護支援が必要な方については、身体系の施設への転園も検討するが、認知症の進行による支援が重度化する利用者については、65歳以上になっても、できる限り当園で支援を考えている。
- 近藤園長 議案2を事務局から説明
- 藤川主任支援員 当園の運営状況について
収入計①358,615,967円の大半は障害者福祉サービス等事業収入となっている。支出については、大半が人件費で241,180,119円、施設建設・改修等積立資産として23,349,000円、その他の支出も合わせて、収支差⑤の6,943,462円となっている。社会福祉法人が健全に運営できる平均的な収支差となっている。
- 近藤園長 意見・質問を求める。
- 各構成員 意見等なし。
- 近藤園長 議案3を事務局から説明
- 藤川主任支援員 地域交流の紹介
道路沿いのふれあいの店で生製品の販売を通じて、お客様として来店いただく地域住民との交流を図る。地域で行われる行事にも積極的に参加する。
11/10 ほほえみフェスタ、12/7 収穫祭の紹介。
- 近藤施設長 意見・質問を求める。
- 白石構成員 コロナ以前は地域の行事によく出られていた印象。今後はどのように行事に参加していくのか。また、客はふれあいの店で利用者とお会いのを楽しみにしているから、もっと利用者をお店にでてほしい。
- 藤川主任支援員 コロナ以前に参加していた行事にも積極的に参加を検討している。ふれあいの店についても、そう言って頂けると大変うれしい。
- 菅野構成員 ほほえみフェスタと同日に、東温市の文化祭もある。選挙で一週間ずれて開催日が被ってしまったが、来年以降は相互に協力出来たら。
- 近藤園長 ぜひそうしていきたい。また、12月7日開催の収穫祭については、当園が60周年ということもあり、近隣施設にも協力を仰いで、地域住民との交流の場として実施していきたい。

- 近藤園長
森本構成員
その他 議案以外での発言を求める。
市役所のロビー販売は職員にも好評でよく利用する。もっとファンを増やしてほしい。提案として、ふるさと納税の返礼品として、福祉施設の生産品とのコラボも考えている。もし検討いただけるなら担当部署とも繋げる。
- 近藤園長
年度当初に話をもらった東温市のふるさと納税返礼品事業を行っている事業者にも説明を聞き、市内の農家のかんきつを使ったジュースをつくれな
いか検討している。
- 菅野構成員
利用者の生活で、平日の外出はあるのか。また、その際のお金はどうして
いるのか。
- 近藤園長
平日の外出も、近所のスーパーやコンビニでの買い物、周辺の散歩等職員
同伴で実施している。お金については、利用者本人の年金であったり、生
活費であったりで本人負担で行っている。
- 松本構成員
学校として、生徒の実習、キャリアガイド等、本当にお世話になってい
る。生徒たちも楽しんでいる。また、卒業生についても各事業で利用者
としてお世話になっている人もいる。
卒業生の進路としては、3割が一般就労、残りの7割が何らかの福祉サー
ビスを利用している。在学時にこんな能力を身につけてほしいなど、
何かあれば教えて頂きたい。また、交流として学校行事にも参加してい
ただきたいが、生徒数が多く、地域の方まで声を掛けられないのが現状
であり申し訳なく思う。
- 白石構成員
前に夜勤専従として勤務させていただいた経験がある。その際、知的障
がい者に対する見方、接し方が変わった。1, 2年ではあったが、人生
の中でとてもいい経験になっている。利用者のおかげ。職員さんも色々
な地域行事に参加していただきとても感謝している。今後ともよろしく
お願いしたい。
- 久保構成員
利用者の母親として、白石構成員の言葉には感動した。また、そういった
施設に娘を預けられてよかった。地域の人との関わりはとてもありがた
い。
また、職員全員の顔と名前が一致しないことがあり、とても申し訳なく
思う。いろいろ制限はあるのだろうが、保護者に送る機関紙「清愛」に
職員全員の名前、業務などを載せてもらえたらうれしい。
- 近藤園長
会議を閉会する旨を告げる。